

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	福祉児童課		
------	-------	--	--

基本目標	1 みんなで“支えあう”～ほっこり暮らせるまちづくり～
施策	1 子育て支援

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター(利用者支援事業 基本型) 子どもや保護者の身近な場所(役場 福祉児童課内)に、専任の子育て支援員を配置し、教育・保育・保健等に関する情報提供や相談・助言を行う。 ・児童虐待防止対策の推進 要保護児童対策機関調整担当者2名体制とすることにより、支援体制を早期に整え、関係機関との調整、連携をスムーズに行う。
2	保育及び幼児期の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な保育サービスの拡充 保護者の多様化したニーズに応じていくと共に、老朽化した園児用食器を買い換え、保育環境の改善を図っていく。また、緊急地震速報機器を導入する。 保育士等資質向上のため計画的に研修を受講し、保育士間で情報共有する。
3	子どもの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業 放課後児童支援員リーダーに基礎研修を受講させ、支援員の資質向上を図っていく。 ・放課後児童クラブ専用棟建設 各小学校の敷地に合計4棟完成したので、運営上子ども広場との一体化事業を図っていく。 ・多機能児童館建設 運営に関し、住民を交えてのワークショップを行い、住民の意見も取り入れながら運営体制を検討する。実施設計については保健センターと再協議の上、機能、安全性の向上に努める。
4		
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度
1	放課後児童クラブ 小学校区に開設する放課後児童クラブの教室数(教室)	6 11	11 ○				
2							
3							
4							

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
1) 子育て等に関する窓口等相談の充実と幼稚園との連携。子育て世代包括支援センター子育て支援員の社会資源の活用と関係機関との連携方法。 2) 前年度に行ったニーズ調査を踏まえ、子ども・子育て支援事業計画を策定する。また、老朽化した園舎等の修繕、改修に努める。 3) 放課後児童クラブ館の運営について支援員リーダーから出る意見を早期解決できるよう努める。学校敷地内に建設されたことと6年生までの受入となったことで学校との連携強化を図る。また、(仮称)多機能児童センターの児童館部分と保健センター部分との運営に向け、課題を出し合い協議していく。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
保育士職が3名配置されたことで、窓口や電話相談はいつでも受けられる体制が整った。子育て世代包括支援センター子育て支援員が中心となり保育園、学校、幼稚園等関係機関との連携方法を確立する。 2) 保育及び幼児期の教育の充実 子ども・子育て支援事業計画を策定する。 3) 子どもの居場所づくり 学校と放課後児童クラブと子どもの様子についての連携に努める。また、(仮称)多機能児童センター実施設計の見直しを業務面と事業費面から行う。